

『できる日本語』のための

アドバイス帳(2)

～「初中級」のための<Q&A集>～



8月に『できる日本語』のためのアドバイス帳（1）～「初級・初中級」をより良く使うために～』を作成しました。その後、いろいろな声・感想などをいただきました。

- ・以前よりもっと学習者の声を引き出せるようになりました。
- ・迷ったときに読むと、「ああ、これで良かったんだ」と自信が持てて、ほっとします。
- ・学内の教師研修のとき、とっても便利で助かります。

さらには、『できる日本語』以外の教科書を使っている、授業を進める上で参考になる」といった声まで寄せられ、改めて「作成してよかった」と思っています。

さて、そうした声に交じって、『初級』は分かりやすいけれど、どうも『初中級』がうまく使えなくて……』というご意見も幾つかいただきました。そこで、「初中級」の楽しさを知っていただきたいと思い、『アドバイス帳（2）～「初中級」のための＜Q&A集＞～』を作ることにしました。

「初級」が終わって、日本語力がぐ～んとついた。「初中級」ではもっと広く深く語れるようになると思うと、楽しみ楽しみ！文型も語彙もしっかり定着するし……。

多くの方にそう思っただけであれば幸いです。表紙に『わたしの文法ノート』『わたしのことばノート』が載せてあるのは、本冊だけではなく、この2冊の副教材も同じように活用していただきたいと考えたからなのです。特に『わたしの文法ノート』には、何が、どんな形で学べるのかがくっきりと浮かび上がってくるような仕かけになっています。一見バラバラに出ているように見える文型も、実は場面・状況に埋め込まれ、しかも体系的に学べるようになっています。その1つの現れが「マーク」（ふたばマーク）に加え「マーク」（よつばマーク）があることです。

この『「初中級」のための＜Q&A集＞』にある質問は、いろいろな研修会などで寄せられた質問の中から撮り出しました。では、どうぞさまざまな形で実践にご活用ください。

できる日本語教材開発プロジェクト リーダー
一般社団法人アクラス日本語教育研究所 代表理事

嶋田 和子

ホームページ：<http://www.acras.jp/>

アドレス：kazushimada@acras.jp

目 次

1. 『わたしの文法ノート』にある「マーク」の役割は何ですか？ . . . 3
2. どうして「敬語」を分けて学ぶのですか？ 7
3. 砕けた言い方（友達ことば）は、どう扱っているのですか？ 10
4. 受身・使役・使役受身は、どんなふうに出ていますか？ 15
5. 「～てもらいます」「～ていただきます」をする前に、
「～ていただけませんか」が出てくるのはどうしてですか？ 25
6. 「～んです」は、どんなふうに出ていますか？ 31
7. 「つながり」重視について、少し説明していただけませんか？ . . . 35

1. 『わたしの文法ノート』にある「マーク」の役割は何ですか？

構造シラバスの教科書と違って、場面や行動目標が前面に出ているため、学習項目が見えにくいという声がありますが、実は、**ポイント一覧**（214～227 ページ）や**シラバス一覧**（242～245 ページ）を見ていただくと一目瞭然です。でも、「もっと1つ1つの学習項目がどのように出ているのかを知りたい」という場合には、ぜひ『わたしの文法ノート』を本冊と一緒に見ていくことをお勧めします（『アドバイス帳（1）』でもお伝えしましたが…）。

詳しい説明は『アドバイス帳（1）』の副教材の項目をご覧ください。まず全体を見るために、『わたしの文法ノート』の項目を見ておきましょう。

ポイントチェック

「ポイントチェック」

課が終わったときに、その課の文法整理をするために使います。クラス全体でやっても、個人ベースでもけっこうです。また、地域日本語教室や独学でやってきた人が、自分の力を知るために、まず「ポイントチェック」で「どのくらいわかっているかどうか」をチェックしてみるという使い方もあります。



「ふたば」

その学習項目が終わったところで宿題に出すとよいと思います。文法に関して留意すべきポイントが練習問題としてあげられていますので、教師が事前に目を通しておくと便利です。

★



「よつば」

場面・状況に合わせて複数の課で出てきたものをまとめるところです。文法のまとめとして使うと効果的です。



「水やり」

文型をミックスして学びます。課が終わったところで、まとめとして使うとよいと思います。



「花」

その課で学んだことがアウトプットできるようになるためのワークです。場面に関しては、本冊の場面と若干異なった場면을提示しています。

★が付いている「よつば」は「初中級」にしかありません。そこで、どんな意図で「よつば」があるのかについて、「～たら」を例にとって見ていきたいと思います。

多くの初級教科書では、意味の違う「～たら」が同時に出てくるのですが、それは形式主義(形を第一にしている)だからなのです。あくまで場面・状況にそって学ぶとなると、出てくる課は違ってきます。『わたしの文法ノート』の5課「よつばマーク」と、教科書の該当する部分を提示しておきます。

『わたしの文法ノート 初中級』5課「マーク」



～たら

しよきゅう だいい か
《初級》第15課
しよちゅうきゅう だいい か
《初中級》第3、5課

①～⑥の「～たら」はA～Cのどれと同じ使い方ですか。

- A. 明日、雨が降たら、サッカーの試合は中止です。
B. 大学を卒業したら、父の会社で働こうと思っています。
C. かばんを開けたら、財布が入っていませんでした。

- ① もみじ屋へ行たら、今日は休みでした。 ()
② うちへ帰たら、すぐ連絡します。 ()
③ 週末、暇だたら、一緒にふじまるランドへ行きますか。 ()
④ 冬になたら、スキーをしたいです。 ()
⑤ お金があたら、車を買いたいです。 ()
⑥ 起きたら、もう12時でした。 ()

A「仮定」 『初級』15課「テレビ・雑誌から」 ST2「雑誌を見て町へ」

1 【言ってみよう】

例) A: 隣の町に新しいスーパーができたそうですよ。

B: えっ? 本当ですか。

A: ええ。1,000円以上買たら、プレゼントがあるそうですよ。

B: そうですか。

A: 時間があたら、一緒に行きませんか。

B: いいですね。行きましょう。

B 「確定条件」 『初中級』 3課「私の目標」 ST1 「これからの計画」

① ② 【言ってみよう】

例) A: 授業が終わったら、何をしますか。

B: 友達と映画を見に行きます。Aさんは?

A: 私は専門学校の説明会に行こうと思っています。

B: そうですか。

C 「発見」 『初中級』 5課「大変な1日」 ST2 「駅で」

③ 【言ってみよう】

例) A: 遅れてすみません。

B: いいえ。

A: 急行に乗ったら、わかば駅に止まらなかったんです。

B: そうですか。

A: 本当にすみません。

『わたしの文法ノート』
をうまく活用することが
ポイント!



『わたしの文法ノート』にある「よつば」は、以下のとおりです。

『できる日本語 わたしの文法ノート 初中級』「よつば」一覧

学習項目	よつばのある課	例文		学習する課
1 ~たら	5課	A 明日、雨が降ったら、サッカーの試合は中止です。	仮定 確定条件 発見	初級15課
		B 大学を卒業したら、父の会社で働こうと思っています		初中級3課
		C かばんを開けたら、財布が入っていませんでした。		初中級5課
2 ~てあります	6課	A 壁に地図が貼ってあります。	結果 完了	初中級2課
		B チケットはもう買ってあります。		初中級6課
3 ~そうです	9課	A 木村さんは来月韓国へ行くそうです。	伝聞 様態 予測 直前の様態	初級15課
		B このケーキはおいしそうです。		初中級2課
		C このツアーは年末混みそうです。		初中級6課
		D あっ、お皿が落ちそうです。		初中級9課
4 ~ておきます	9課	A 旅行に行く前に、おいしいレストランを調べておいてください。	準備 放置	初中級6課
		B まだパソコンは使いますから、そのままにしておいてください。		初中級9課
5 ~てしまいます	9課	A どこかで財布をなくしてしまいました。	後悔 完了	初中級5課
		B もう、夏休みの宿題は全部してしまいました。		初中級9課
6 ~ことになっています	9課	A 寮の前に自転車を止めてはいけないうことになっています。	規則 予定	初中級9課
		B 明日はガス会社の人があることになっています。		初中級9課
7 ~みたいです	10課	A あそこで事故があったみたいです。	様態 比況	初中級10課
		B このワインはジュースみたいです。		初中級10課
8 ~られます	10課	A 私は刺身が食べられます。	可能 尊敬 受身	初中級1課
		B 社長は3時に会社を出られたそうです。		初中級7課
		C 友達に「日本語が上手だね」と褒められました。		初中級10課
9 ~ようになります	11課	A 漢字が書けるようになりました。	能力の変化 習慣の変化	初中級1課
		B 自分で料理をするようになりました。		初中級11課
10 ~やすいです・ ~にくいです	12課	A この靴ははきやすいです。 このペンは書きにくいです。	性質 傾向	初中級2課
		B 最近、疲れやすいです。 風邪をひきにくいです。		初中級12課
11 ~ばかり	13課	A 私は先月、日本へ来たばかりです。		初中級11課
		B 私は子どものころ、遊んでばかりいました。		初中級13課
12 ~ために	15課	A パソコンを買うために、貯金しています。	目的 原因	初中級3課
		B インフルエンザのために、学校を欠席する学生が増えています。		初中級15課
13 ~ていきます ~てきます	15課	A ちょっとジュースを買ってきます。		初級10課
		B 「あ、ウサギがこっちに走ってきましたよ。」 「本当だ、かわいいですね。あ、もう走って行ってしまいました。」		初中級10課
		C 最近、子どもの数が減ってきました。 これからも減っていくと思います。		初中級15課

2. どうして「敬語」を分けて学ぶのですか？

一度に敬語が出てくる教科書を使っていることが多いことが原因なのか、こうした質問がよく来ます。初級レベルの学習者に、初級の後半あるいは最後の課に敬語としてまとめていっぺんに出し、教師が説明していくような授業では、学習者が敬語が使えるようになるとは考えられません。

『できる日本語』は、その場面・状況で必然性のある形で文法や語彙を学ぶようにしていますので、敬語に関しても同様に、「場面・状況」「関係性」などを大切にしています。特に、日本語の敬語は、上下関係だけではなく親疎関係も重要な要素になる点を忘れてはなりません。『できる日本語』では「初中級」1課、7課で出ています。では、実際に、どのように提出されているのか見てみましょう。

(1) 1課『新しい一歩』 ST1「アルバイトを探す」

1課の行動目標は、「初めて会った人に丁寧に自己紹介したり、印象よく問い合わせをしたりすることができる」であり、ST1の行動目標は、「アルバイトの問い合わせをしたり、面接での簡単なやりとりをしたりすることができる」です。それに最低限必要な敬語を場面に合わせて学べるようになっていきます。具体的には、「いらっしゃいます／申します／参ります」だけが出ています。また、このように場面とともに学ぶことによって「方」「者」なども自然に使えるようになります。では、【言ってみよう】にある会話例を見ることにします。

【言ってみよう】

① 例) A: チラシを見て電話している者ですが、山田さんはいらっしゃいますか。

店員: あ、アルバイト希望の方ですね。少々お待ちください。

A: はい。

② 例) 店長: はい、店長の佐藤です。

A: 私はパクと申します。アルバイトのチラシを見て、電話しました。

まだアルバイトを募集していますか。

(・・・後略)

④ 例) 店員：こちらどうぞ。

A : 失礼します。リンと申します。よろしく願いいたします。

店長：どうぞ、座ってください。

A : はい。

店長：リンさんはいつ日本へいらっしゃいましたか。

A : 半年前に参りました。

(2) 7課『西川さんの家へ』 ST1「初めての訪問」

7課全体の行動目標は、「日本人の家に行ったとき、場面と関係性を考えながら、その家の人との交流を楽しむことができる」であり、ST1の行動目標は、「初めて会った人と、丁寧な日本語を使って話すことができる」です。

具体的には、以下の例のように親疎関係から「西川さんのお父さんとワンさんの会話」の場面では特別敬語、「西川さんのお姉さんとパクさんとの会話」の場面では、尊敬動詞が使われています。では、7課ST1のチャレンジ①と②の会話を見てみましょう。

① ワン、パク、アンナ：こんにちは。

西川 : ああ、ワンさん、こんにちは。お父さん、こちら、交流会で友達になったワンさんとパクさんとアンナさん。

ワン : はじめまして。

西川父：皆さん、よくいらっしゃいました。

ワン、パク、アンナ：お邪魔します。

⋮

西川父：ワンさん、日本の生活はいかがですか。

ワン : 中国とはいろいろなことが違って、とてもおもしろいです。

西川父：そうですね。今は何をなさっているんですか。

ワン : 学生です。日本語学校で日本語を勉強しています。

② ワン : お父さんは、お休みの日、どんなことをなさっているんですか。

西川父：私は音楽を聞くのが好きで、ときどき、コンサートに行きます。

ワン : そうなんですか。私も好きです！ どんな音楽をお聞きになりますか。

西川父：よくクラシックを聞きます。ワンさんはクラシックをお聞きになりますか。

ワン : はい、大好きです。

- ③ パク : あ、旅行の写真がありますね。どちらへ行かれたんですか。
西川姉 : 長野です。山に登ったり、温泉に入ったりしました。いいところですよ。
パク : 私も行ったことがあります！ また行きたいです。

【言ってみよう】②をちょっと見てみたいと思います。ここでは、①で習った特別な尊敬語を使うか、②の学習項目である「お～になる」「ご～になる」を使うか学習者が自分で考えて言う練習になっています。練習をする際にも、こうした配慮が求められます。

【言ってみよう】②

A : 休みの日、どんなことをなさっていますか。

例1) B : よく音楽を聞きます。

A : そうですね。どんな音楽をお聞きになるんですか。

B : ジャズをよく聞きます。

A : そうですね。

例2) B : よく買い物に行きます。

A : そうですね。どちらへよくいらっしゃるんですか。

B : 渋谷へよく行きます。

A : そうですね。

「💬」があることに注意してください。例となっている会話から入れ替え練習をするにしても、「考えて言ってください」という印がついているのです。

※ 😊 = 学習者自身のことを言う！

💬 = 学習者が自由に考えて言う！



敬語は、場面・状況や関係性を考えて学ばなければ身につかない！

3. 砕けた言い方（友達ことば）は、どう扱っているのですか？

『できる日本語』では、「初級」11課「私の生活」ST3「友達と」で、初めて「友達言葉」が出てきます。一般的に、普通形を学んだから、それを使って普通体で話すというやり方で学ぶことが多いのですが、もっと場면을重視したやり方にすることが大切です。

このST3の「できること」は、「友達と『友達言葉』を使って話すことができる」であり、「教室で友達と話しています」という場面で学べる仕掛けになっています。

【言ってみよう】**1**－1（動詞現在形の友達言葉）、**1**－2（形容詞現在形、名詞現在形の友達言葉）、**1**－3（過去形の友達言葉）と順にしていくことで、大きな負担を感じることなく、普通形の全体像を少しずつ見せていくことができます。

（言ってみよう 1－3、1－4の例）

次に「友達言葉」が出てくるのは、「初中級」7課で敬語を学んだ次の課、8課となります。

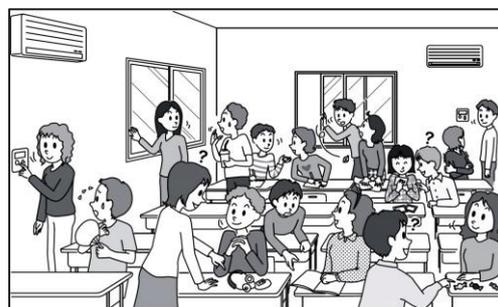
【言ってみよう】**1**－3

- 例) A：週末、何（を）した？
B：ふじまるランド（へ）行った。
A：どうだった？
B：楽しかった。

【言ってみよう】**1**－4

- 例) A：Bさん、消しゴム（を）貸して。
B：うん、いいよ。

- 例) A：Bさん、写真（を）見てもいい？
B：うん、いいよ。



「初中級」8課「ありがとう」のST1「うれしい出来事」は、次のようになります。
できること：親切にされた経験を話したり親しい人に手助けを申し出たりすることができる。

場面：教室で週末にしたことを話しています。

「初級」11課で友達言葉を練習したので、ここでは楽に「友達言葉」を使うことができます。ここでの学習項目は「～てあげる」ですが、これは友達同士など親しい関係で使えるいうことをしっかり理解する必要があります。「友達言葉」を使った会話を提示することで、こうした使い分けが明確になってきます。

ただ、チャレンジをしたあとの板書はクラスやレベルに合わせてください。CDで聞いたとおりに書く（「じゃ、今度作ってあげる」）、「今度作ってあげます」と丁寧体で書いたほうがわかりやすい場合もあります。別冊には、「～てあげました」の形で出ています。学習者やクラスのレベルによって、配慮すべき点が異なりますので、目の前の学習者を見ながら進めてください。



- ① マリヤム：アンナさん、週末、何した？
アンナ：木村さんの家へ遊びに行った。
マリヤム：へえ、何したの？
アンナ：木村さんに料理を習った。
マリヤム：どんな料理？
アンナ：肉じゃが。とてもおいしかったよ。
マリヤム：へえ、私も食べてみたい。
アンナ：じゃ、今度作ってあげる。
マリヤム：うれしい。ありがとう。

【言ってみよう】①

- 例) A：Bさん、週末、何(を)した？
B：写真(を)撮りに行った。
A：ふーん、どこへ行ったの？
B：高尾山。きれいだったよ。
A：へえ、写真(を)見たい。
B：じゃあ、今度見せてあげる。
A：ありがとう。

もう1つ例として9課「アルバイト先で」 ST 2「楽しいアルバイト」を見てみましょう。

できること：スムーズに仕事ができるように、お互いに声をかけ合うことができる。

場面：ホールや調理場で忙しく働いています。

【言ってみよう】 4 5

例) A：Bさん、そろそろ休憩しない？

B：うん、いいね。休憩しよう。

A：Cさんも一緒にどう？

C：あ、お皿を洗ってしまいますから、お先にどうぞ。

3人での会話となっていますが、ここではCはまだアルバイトを始めたばかりなので、「～しまいます」と言っています。このように、同僚と話すとき、また先輩後輩の関係などによって言葉を使い分けることで自然に言葉の使い分けが身につきます。

「初中級」232 ページには、以下のような「友達言葉」一覧が載っています。参考にしてください。

■ ともだちことば
友達言葉

～ています	<small>み</small> 見えています	～てる	<small>み</small> 見てる
～ておきます	<small>か</small> 買っておきます	～とく	<small>か</small> 買ったとく
～てしまいます／てしまいました	<small>た</small> 食べてしまいました	～ちゃう／ちゃった	<small>た</small> 食べちゃった
～でしまいます／でしまいました	<small>よ</small> 読んでしまいました	～じゃう／じゃった	<small>よ</small> 読んじゃった
～てはいけません	<small>み</small> 見てはいけません	～ちゃいけない	<small>み</small> 見ちゃいけない
～ではいけません	<small>の</small> 飲んではいけません	～じゃいけない	<small>の</small> 飲んじゃいけない
～なければなりません	しなければなりません	～なきゃ	しなきゃ
～ないといけません	しないといけません	～ないど	しないど
～んです	<small>か</small> 買ったんです	～んだ	<small>か</small> 買ったんだ
～んですか	<small>い</small> 行ったんですか	～の	<small>い</small> 行ったの
～と～	～と書いてあります	～って～	～って書いてある

ここで1つ気をつけていただきたいことをお伝えしたいと思います。5課「大変な1日」ST2「駅で」の【やってみよう】です。

【やってみよう】

■友達との約束に遅れてしまいました。①～④の絵を見て、ペアで話しましょう。それから、友達に遅れた理由を話しましょう。

●本冊75ページ会話例

①A：あっ！ 大変！ 2時だ！ どうしよう……。急いでBさんに連絡しなくちゃ！

この解答例には、「～なくちゃ」も出ています。これはあくまで解答例ですので、「～なくちゃ」をここで学ばなければならないという意味ではありません。しかし、「スクリプト」を学習者に渡す場合には、スクリプトを学習者に渡す場合には、学習者に合わせて、解答例を丁寧体に変えたり、「～なくちゃ」を前ページの表にある「～なきや」に変えたりして対応することが大切です。

皆さんは、「できる日本語」シリーズでは、友達言葉が自然にすこしずつ出てきているのに気づかれたでしょうか。7課で敬語が出て、8課以降は場面・状況に応じて友達言葉が出てきているのですが、実は、8課以前にも最初から全部ではなく、たとえば1番から3番まであるときなどは、3番は「友達言葉」を使用した会話といった工夫をしています。こうして、少しずつ友達言葉の会話を聞く機会を増やす工夫をしています。

ちょっと『初中級』5課「大変な1日」ST2「駅で」の【やってみよう】を見てください。1番と2番は丁寧体ですが、3番は友達言葉になっています。

●本冊75ページスクリプト

1 ナタボン：遅れてすみません。

ワン：ナタボンさん、どうしたんですか。

ナタボン：すみません、寝坊してしまって……。起きたら、11時でした。

ワン：昨日、遅かったんですか。

ナタボン：ええ。アルバイトが12時まであったんです。

ワン：そうですか。まだ間に合いますから、急いで映画館へ行きましょう。

2 ダニエル：あっ、わかば駅！ ……あ、う、すみません。この電車はわかば駅には止まらないんですか。

乗客：ええ。急行ですから、やまと駅まで止まりませんよ。

ダニエル：えっ？ やまと駅？ どうしよう……。

乗客：やまと駅で降りて、5番線から青い電車に乗ったら、わかば駅に戻れますよ。

ダニエル：えっ？ すみません。もう1回言っていただけませんか。5番線の……？
乗客：青い電車です。
ダニエル：青い電車ですね。ありがとうございます。
：
ダニエル：もしもし、西川さん？
西川：あ、ダニエルさん。今どこですか。
ダニエル：やまと駅です。
西川：えっ？ やまと駅？
ダニエル：はい、すみません。急行に乗ったら、わかば駅に止まらなかったんです。すみませんが、10分くらい待っててもらえませんか。
西川：わかりました。

- 3 パク：ごめん！ 待った？
アンナ：ううん、私も今来たから大丈夫。
パク：よかった。
アンナ：どうしたの？
パク：かばんを電車に忘れて、駅に戻ったの。
アンナ：ええっ!? 見つかった？
パク：うん、隣の駅にあった。
アンナ：そっか。よかったね。
パク：うん、でも、たくさん走って、疲れちゃった。
アンナ：じゃ、喫茶店へ行って、休む？
パク：うん。

初出は初級11課、初
中級8課以降は、状
況・場面に合わせて毎
課登場！



4. 受身・使役・使役受身は、どんなふうに扱っていますか？

多くの教科書において、まず受身の形を覚えてから、場面・状況を作って練習となっていますが、それでは受身が使えるようにはなりません。「受身を使わなければならない状況」を作り出し、そこで学ぶことが重要なのです。『できる日本語初中級』では、10課において、ST1、2に分けて出てきます。では、それぞれの場面と「できること」を記し、どんな受身が、どのように提示されているかを見てみましょう。

10課「旅行に行つて」

行動目標：旅行中に起こった困った状況や今の状況を他の人に伝えたり、観光スポットで目にした風景や建物について簡単に説明することができる。

ST1「ハプニング！」

できること：旅行先で予期できない状況や不利益な状況になったとき、その状況や問題点などを簡単に説明することができる。



場面：空港の到着ロビーでトイレに行った友達を待っています。それから駅へ移動します。

【チャレンジ！】1-1



スクリプト

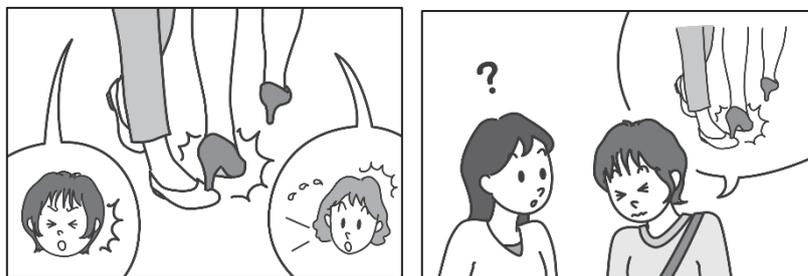
パク：ワンさん、遅かったね。大丈夫？

ワン：トイレの前でおばあさんにタクシー乗り場への行き方を聞かれたんだ。それで、時間がかかった。ごめんね。

パク：ううん。じゃあ、駅へ行こう。

【チャレンジ!】 1-2

スクリプト



パ ク : あ、痛い!

女の人 : あ、すみません。

パ ク : いいえ。

ワ ン : ・・・どうしたの?

パ ク : 足を踏まれた。

ワ ン : 大丈夫?

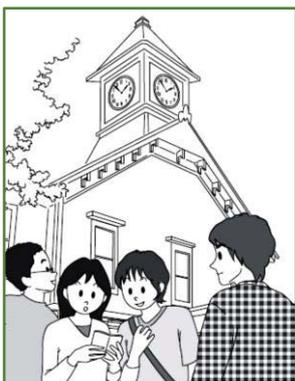
パ ク : うん、ちょっと痛いけど、大丈夫。

マルコ : ワンさん、パクさん、こっち、こっち。

ST1では、「事情を説明する」という目的で受身表現を使っています。「知らない人に道を聞かれて説明していた」と遅刻した理由を説明したり、「痛い!」という声で「どうしたのか」と聞かれて状況を説明したりしています。こういう「旅行先での予期できない状況」で、その状況を説明するときに、受け身がよく使われるということを、状況イラストやコマイラストがはっきりと示してくれています。

ST2 「ガイドブックを片手に」

できること : 現在の自分の状況や目のものなどについて簡単に説明することができる。



場面 : 博物館の近くを歩いています。

ST2の受身は「無生物主語の受身」です。これはガイドブックを見ながら、あるいは目の前で歴史的な建物や絵画などを見ながら、「博物館は…」となるからこそ意味があるのです。

【チャレンジ!】5



パク : ああ、動物園、おもしろかった。
ナタポン : あれ? あの建物は何?
パク : あ、ちょっと待って。あれは博物館だよ。
ナタポン : へえ、ヨーロッパの建物みたい。

【チャレンジ!】6



ワン : 古そうだね。
ナタポン : いつごろ建てられたの?
パク : ...ええと、今から110年前に
建てられたそうだよ。ここは、昔銀行
だったと書いてある。
ナタポン : へえ。

一つ気をつけたいこととして、「【言ってみよう】」の代入練習がかならずしも【例】とは同じではない」ということがあります。「無生物主語の受身」で使われる「～によって」を例にあげてお話ししたいと思います。

作った人・関わった人を明確にする必要がある場合には、「～によって」を使いますが、そのことについて本冊では、【言ってみよう】5 6の③で出てきますが、「～によって」は明示されていません。しかし、別冊(40ページ)には、練習として出ています。「別冊」→「本冊」という流れを大切にしたいものです。

(もちろん学習者やクラスによって「別冊」を簡単に済ませたり、逆にもっと練習問題を増やすといった柔軟な対応が求められます。しかし、「別冊」には新出語彙や本冊には明示されていない練習問題もあることを覚えておくことが大切です)

【言ってみよう】5 6では次のような練習をします。

②



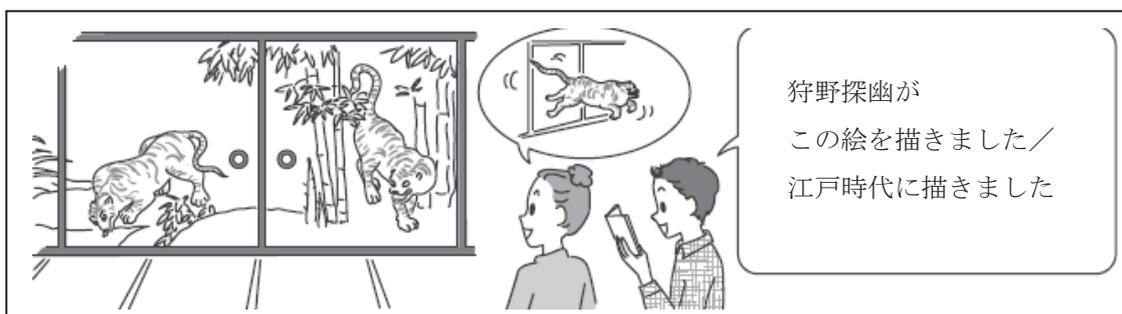
②A : ex.) あのビル (は) おもしろいね。

B : そうだね。ex.) ケーキみたいだね。

A : うん。ええと、このビルは今から20年前に建てられたそうだよ。ここは昔、ビール工場だったと書いてあるよ。

B : へえ。

③



③A : ex.) このトラの絵 (は) すごいね。

B : そうだね。ex.) 生きているみたいだね。

A : うん。ええと、この絵は狩野探幽という人によって描かれたそうだよ。江戸時代に描かれたと書いてあるよ。

B : へえ。

解答例の中に ex.) とあるのは、「口の練習」であっても、学習者が考えて話してほしいというメッセージです。本冊には「」のマークがあります。

③の「この絵は狩野探幽という人によって描かれたそうだよ。江戸時代に描かれたと書いてあるよ。」といった文では、「どういう場面・状況の時に『無生物主語の受身』を使うのか、「～によって」はどんな時に使うのか」が、学習者にはっきり分かります。単に文型を提示して、文法説明から始めるのではなく、やはり場面・状況で学ぶことが大切ですね。

最後に、別冊を使うときの注意点について触れておきたいと思います。

(授業では、【言ってみよう 別冊】⇒【言ってみよう 本冊】という順番で進めます)

別冊10課は、以下のようにただ文が並んでいるだけです。これを単にキューを言って置き換えたり、別冊を見ながら答えるのでは意味がありません。せつかく【チャレンジ!】でイラストを使ってその状況に身を置いて「自分自身が観光している」気分になっていたものを、単なる言葉・文の入れ替え練習にしてしまつては、意味がありません。

「別冊」はあくまで教師のための参考としてください。学習者やクラスの状況に合わせて、練習を足したり引いたり、イラストにしたりレアリアを使つたり……。まさに教師の腕の見せ所と言えます。こうした工夫が「学習者にとつても、教師にとつても『わくわくした授業』につながるのではないのでしょうか。

6

練習1

例) 100年前にこの建物を建てました ⇒ この建物は100年前に建てられました。

- ① 来年この会場で国際会議を開きます
- ② 毎日午前11時と午後2時にイルカショーを行います
- ③ 去年京都でこの鏡を発見しました
- ④ 1958年に東京タワーを建てました
- ⑤ 1か月前からコンサートのチケットを売っています
- ⑥ 世界中で柔道を行っています
- ⑦ 世界中の人はカップラーメンを食べています
- ⑧ 多くの外国人はこの旅館を利用しています
- ⑨ 漢字からカタカナを作りました
- ⑩ 麦からビールを造ります
- ⑪ 木でこの机を作りました

練習2

例) 夏目漱石は「こころ」を書きました ⇒ 「こころ」は夏目漱石によって書かれました。

- ① グラハム・ベルは電話を発明しました
- ② マルコ・ポーロは日本を世界に紹介しました
- ③ 歌川広重は東海道五十三次を描きました
- ④ 徳川家光は日光東照宮を建てました

使役と使役受身は、13課で学びます。では、まず13課の「行動目標」、スモールトピックの「できること」と場面を記します。

13課「親の気持ち・子の気持ち」

行動目標：テレビや街中で気になることを見かけたとき、それについて意見を言ったり、それに関する自分の経験を話したりすることができる。

ST1 「町で見かけた子どもたち」

できること：自分の子どもころの経験を交えながら、簡単に意見を言うことができる。

場面：



学校からの帰り道、塾の前を通りかかりました。
そこにいる子どもや親たちを見ながら話しています。

使役 13課ST1

【チャレンジ!】

1



「小さいときはもっと子どもを遊ばせるけど……。」

- 1 マルコ：あ、あそこ。人がたくさん集まってるね。あれ、何？
パク：ああ、塾だよ。子どもを待ってるの。ほら、子どもたちが出てきたよ。
マルコ：わあ、小さい子どももたくさんいるね。
パク：そうだね。
マルコ：私が親だったら、小さいときはもっと子どもを遊ばせるけど……。
パク：そっか。でも、あの子のお父さん、お母さんはあの子の将来のために、いろいろ習わせてるんだと思うよ。
マルコ：そうだけど……。

使役を実生活で使うことは、あまり多くありません。しかし、子どもの頃を振り返って「親が子どもの自分に何をさせたか」を考えたり、「自分が親だったら、子どもに・・・」と考えれば、使役を使う自然な場面が出てきます。

【チャレンジ！】が終わると、【言ってみよう 別冊】に入ります。別冊には、次のような2種類の練習があります。これで、使役の2つの形を抑えることができます。

練習2

例)



⇒ 親は子どもを塾に通わせます。

練習3

例)



⇒ 親は子どもに野菜を食べさせます。

「本冊」だけでは文法が見えにくいため、「文法がハッキリ抑えられない」といった声を聞きますが、「別冊」をしっかりと見ることによってこうした懸念を捨て去ることができるのです。練習1, 2, 3と見てきましたが、続く練習4, 5では、「許可」を分けて学べるようになっています。

練習4

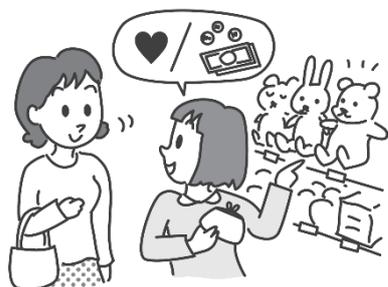
例)



⇒ コーチは選手を(に)休ませます。

練習5

例)



母親・娘・好きなもの

⇒ 母親は娘に好きなものを買わせます。

ST2 「思い出すと」

できること：子どものころ受けた教育で今の自分に影響を与えていることについて話することができる。

場面：



友達のうちで写真を見ながら、話しています。

使役受身 13課ST2

【チャレンジ!】**1**は、「～ばかり」が学習項目なのですが、そこから**2**の**使役受身**にうまくつながっています。

さらに、嫌だと感じる「使役受身」の次に、**3**で「～させてくれた／～させてもらった」を学び、うれしい気持ちを表す表現も、同じテーマの会話の流れの中で学びます。

【チャレンジ!】

1



1 パク：これ、山口さんのお母さん？
山口：うん、そうだよ。
パク：へえ。優しそうな人だね。
山口：うーん、私が子どものころは厳しかったよ。毎日テレビばかり見てたから、よく叱られた。
パク：へえ。

2



2 山口：毎日勉強させられたし、掃除や料理も手伝わされた。
パク：へえ。
山口：そのときは大変で、お母さんの気持ちがわからなかったけど、今は自分で何でもできるようになって、よかったと思ってる。
パク：そっか。
山口：今になってあのときのお母さんの気持ちを考えると、とても感謝してるよ。

3



3

山口：パクさんのうちはどうだった？

パク：私の両親も教育には熱心だったけど、そんなに厳しくなかった。やりたいことはだいたいさせてくれたよ。小学生のときは水泳を習わせてもらったし、高校生のときは友達と旅行に行かせてもらった。

山口：へえ。そうなんだ。

パク：私も子どもには好きなことをさせたいと思っているんだ。

「うれしい気持ち・いやな気持ち」を考えるのがポイント、
【話してみよう】【言ってみよう】の活用の仕方が大切！



5. 「～てもらいます」「～いただきます」をする前に、「～いただけませんか」が出てくるのはどうしてですか？

『できる日本語』は、「同じ形のものまとめて出す」ということはしていません。また、その場面・状況にぴったりの表現がある場合には、ときには未習文型であっても、その表現を「1つのかたまり」「決まり文句(チャンク)」として学ぶことがあります。この「～てもらえませんか」「～いただけませんか」は、まさにそういった表現になります。

A. 「～てもらえませんか」

2課「楽しいショッピング」 ST1「上手に買い物」

【言ってみよう】3

店員：いらっしゃいませ。

A：あのう、あの辞書を見せてもらえませんか。

店員：はい、どうぞ。

ここでは、店員さんに品物を見せてもらう場面です。お客さんという立場ですので、「～てもらえませんか」という依頼表現で十分です。しかし、次の場面では「～いただけませんか」となります。

B. 「～いただけませんか」

5課「大変な1日」 ST2「駅で」

【言ってみよう】1

A：あのう、すみません。

B：はい。

A：浅草への行き方がわからないんですが、教えていただけませんか。

B：ええ、いいですよ。

今度は、自分がよく道がわからないので、誰かに時間を使って教えてもらおうというわけですから、丁寧に言う必要があります。そこで「～いただけませんか」を使うことになります。

そして、8課「ありがとう」で次のような学習項目が出て来ます。既に述べましたが、敬語はその1つ前の課である7課で学んでいます。

S T	スモールトピック	できること	学習項目
S T 1	うれしい出来事	親切にされたり経験を話したり親しい人に手助けを申し出たりすることができる。	Vてあげます Vてもらいます Vてくれます
S T 2	お世話になりました	自分がお世話になったことを他の人に話すことができる。 お世話になった人にお礼を言うことができる。	いただきます くださいます Vていただきます Vてくださいます

1 3 課の使役が終わった後で、「お願い」の言い方をまとめたりするといいと思います。

「お願い」の言い方	
人にしてほしいとき	自分がしたいとき
～てください	～させてください
～てもらえませんか	～させてもらえませんか
～てくださいませんか	～させてくださいませんか
～していただけませんか	～させていただけませんか

※「～てくださいませんか」は『できる日本語』では扱っていません。

ここで、少し『できる日本語 中級』にも触れておきたいと思います。『できる日本語 中級』には「こんなときどうする?」「見つけた!」「耳でキャッチ」「伝えてみよう」という4つのタスクがあります。そのうちの「こんなときどうする?」は、ある場面・状況において、日本語でどう行動するかというタスクです。「こんなときどうする?」で「依頼」のタスクが繰り返し出てきます。こうして、さまざまな依頼表現が場面・状況に応じて学べるようになっています。どんな依頼表現があるか、見てみましょう。

「中級」第2課

タイトル	行動目標	タスク	できること
楽しい食事・上手な買い物	周りの人からいろいろな情報を得たり、自分の希望を伝えたりして、満足のいく食事や買い物をする ことができる。	タスク 4	店の人に希望を伝えて依頼することができる

ここでは店の人に服のサイズ直しを頼みます。頼むときも、自分の希望も入れて頼むので、その際に使う「~でしょうか」「店の人にやわらかく希望を伝えるときに使える表現」なども紹介してあります。

2. ~でしょうか [普通形(ナA/N)+でしょうか]

① A : この靴の修理をお願いしたいんですが……。

店員 : はい。

A : どのくらい時間がかかるでしょうか。

店員 : 5分くらいでできますよ。

② 店員 : はい、レストランさくらです。

A : すみません、そちらへ行きたいんですが、駅からの道を教えてもらえないでしょうか。

》》 店の人にやわらかく希望を伝えるときに使える表現

~たいんですが
もう少し ~てほしいんですが
もっと ~てもらいたいんですが
~てもらえると助かるんですが
~ことができないでしょうか
できれば、~

「中級」第4課

タイトル	行動目標	タスク	できること
地域を知って生活する	地域の暮らしに必要な情報を得て、快適な生活を送ることができる。	タスク 2	困っていることを管理人に説明し、解決してもらえるように頼むことができる。

ここでは、アパートの管理人さんに困っていることを説明して、解決してほしいと頼むタスクをします。困っていることを管理人に説明し、解決してもらえるように頼む際に使える表現を

「～たいことがあるんですが」、「～ていただきたいんですが」練習します。

1. ～たいことがあるんですが

- ① A：あのう、お願いしたいことがあるんですが……。
B：はい、何でしょうか。
- ② A：すみません。ちょっとお伺いしたいことがあるんですが……。
B：はい。

4. ～ていただきたいんですが

- ① A：すみません、管理人さん。このお知らせの内容がよくわからないので、教えていただきたいんですが。今いいですか。
管理人：いいですよ。どこですか。
- ② A：田中先生に授業に遅れると伝えていただきたいんですが。事故で電車が止まっているんです。
事務室の人：はい、わかりました。気を付けて来てください。

≫≫ 言い出しにくいことを言うときの表現

あのう、ちょっと～んですが 実は、～んですが ～がちょっと……

「中級」第13課

タイトル	行動目標	タスク	できること
トレンドに乗ってつながらる	社会の流行やトレンドについて知り、その中で興味のあることを話題に取り入れて周囲の人々とやりとりすることができる。	タスク 4	大切にしているものについて修理を依頼することができる。

店の人に大切にしている理由を言って、時計の修理を頼むタスクをします。

≫ 実現したい気持ちを伝えて依頼するときに使う表現

ぜひ～たいと思って、～ ～だけに、どうしても～たいんです
 なんとか(～てもらえない／お願いできない)でしょうか
 ～としても、かまいません

「中級」第17課

タイトル	行動目標	タスク	できること
働くということ	自分の将来について考えるために、仕事に対する考えを周りの人と共有したり、就職のために情報を集めたりすることができる。	タスク 4	目上の人にメールで丁寧に依頼することができる。

先生に依頼のメールを書くタスクです。

1. ～ていただけませんか

- ① お話を伺いたないので、一度会っていただけませんか。
- ② 貴社の資料を送っていただけませんか。
- ③ お時間があれば、就職のことで相談に乗っていただけませんか。

》》 丁寧な依頼のメールを知り合いに送るときに使う表現

最初の挨拶

お久しぶりです／ご無沙汰しております

寒くなりましたが、～／暑くなってきましたが、～

お元気でいらっしゃいますか／お元気でしょうか

～さんにご紹介いただいた～です 以前お世話になった／なりました～です

現在の様子

依頼の内容

今日はお願ひしたいことがあって、メールしました

お忙しいところ(を)、申し訳ありませんが、

お願ひしたいことがあるんですが、

もしよろしければ、 ～ていただけませんか／～ていただけませんか

申し訳ありませんが、 ～ていただけると嬉しいです

最後の挨拶

お忙しいところ(を)、申し訳ありませんが、～

どうぞよろしくお願ひいたします

『できる日本語 中級』の「使ってみよう」に「>>>」マークがあります。これは、そこでのタスクを達成するために必要なことばや表現をまとめたものです。「>>>」のワークシートは、近いうちに出版する予定です。

形ではなく、機能を大切に！
「文法脳」から抜け出そう！



6. 「～んです」は、どんなふうに出ていますか？

初級学習者の「～んです」の誤用が目につきます。それは、1つの課でまとめているいろいろな「～んです」を詰め込んでしまうことから来るのではないのでしょうか。「～んです」には気持ちが入ることを考えれば、適切な場面・状況のもとで学ぶことが求められてきます。

『できる日本語』では、まず初級12課で初めて「～んです」が出てきます。では、ちょっと「初級12課」の流れを見てみましょう。

12課「病気・けが」

行動目標：体調について友達や周りの人と簡単に話すことができる。

また、病院で簡単なやりとりをすることができる。

ST1「体の調子」

できること：体調が悪くなったとき、病状を簡単に話して早退を申し出たり欠席の理由を言ったりすることができる。

場面： 休み時間に教室で話しています。

ST2「アドバイス」

できること：体調がよくない友達にアドバイスすることができる。

場面： 教室で元気のない友達に話しかけています。

ST3「病院で」

できること：病院で簡単に症状を話したり医者の指示を聞いたりすることができる。

場面： 病院で話しています。

この流れで、まずST1では、次のようになります。

【チャレンジ!】①-1

<友達とのやりとり>

具合の悪いクラスメイトを心配して、「どうしたんですか」と声をかけています。クラスメイトは「頭が痛いんです」と答えています。



ダニエル：パクさん、どうしたんですか。

パク：頭が痛いんです。

ダニエル：大丈夫ですか

パク：ええ……………。

【チャレンジ!】①-2

＜先生とのやりとり＞

先生に早退の許可を求めた学生が、先生から「どうしたんですか」と聞かれて答えています。



パク：あのう、先生、今日、早く帰ってもいいですか。

本田：どうしたんですか。

パク：頭が痛いんです。

本田：それはいけませんね。お大事に。

このように提示することで、相手に興味・関心があることや、心配しているという気持ちを表したいときに、「～んですか」を使うのだということに気づいてもらうことができます。そして、答えるとき、「私がどうして辛そうにしているのかと言うと・・・」「どうしてこんな顔になっているのかと言うと・・・」という理由を伝えるために、「～んです」を使って答えているということも、このやりとりを通して学ぶことができます。「～んです」の意味を教師があれこれ説明しなくても、学習者が自分自身で「どういう場面で、どんな意味で使っているのか」ということに気づくことができるのです。

ST2で友達のアドバイスを受け病院に行くことにしました。そして、ST3では病院でお医者さんとやりとりをすることになります。

【チャレンジ!】①-2

＜医者とのやりとり＞

医者は「どうしましたか」と患者に尋ねることを出すことで、「どうしたんですか」の使い方が明確になってきます。



看護師：ダニエルさん。どうぞこちらに入ってください。

ダニエル：はい。

医者：どうしましたか。

ダニエル：頭がとても痛いんです。

医者：いつからですか。

ダニエル：昨日の夜、家へ帰ってから、痛くなりました。

医者：そうですか。よく痛くなりますか。

ダニエル：はい、ときどき・・・

次に、「初中級」の3課と4課に出てきます。

3課「私の目標」 ST2「夢に向かって」
「～んですか」「(疑問詞)～んですか」

行動目標：自分の目標や計画を話したり進路の参考のために周りの人から話を聞いた
りすることができる。

ST2「夢に向かって」

できること：自分の将来のことで興味があることについて、周りの人に話
したり質問したりすることができる。

場面： 放課後、友達と話しています。

【言ってみよう】2-1

A：わあ、このゲーム、おもしろそうですね。

Bさんが作ったんですか。

B：はい。

専門学校の見学に行って、自分から興味、関心のあることについて「～んですか」を用い
て聞いています。

【言ってみよう】2-2

A：いつ日本へ来たんですか。

B：2年前に来ました。

A：そうですか。

専門学校で勉強している先輩に対して、いろいろ聞きたいときに、「～んですか」を用いて
聞いています。別冊2-2練習2では、練習1と練習2を分けています。練習2で「どう
して～んですか」(興味・関心)と聞かれたら、「～んです」(理由)で答えるということが
確認できるようになっています。言ってみよう2-2では、質問によって答え方を自分で
考えるようになっています。

【言ってみよう】3

A：あ、頑張っていますね。

B：来月、大学の入学試験を受けるので、勉強しなければならんです。

③では、頑張っている友達を見て、Aさんが声をかけます。それに対して、Bさんが「～んです」を使って答えています。この「～んです」の意味を「事情説明」などと教師が説明をしなくても、「～んです」を使ってBさんが答えていることに注目してもらい、どうして「～んです」を使って答えているのかを推測するよう促すことで、「～んですか」の意味がわかります。3の学習項目は「～なければなりません」(個人の義務)ですが、「～んです」にも注目してもらいたいものです。

4課「住んでいる町で」

行動目標：日本の生活を楽しむために住んでいる町の情報を教え合って、その情報をもとに行動することができる。

ST1「生活を楽しむ」

できること：住んでいる町の施設やお店の情報を聞いたり教えたりすることができる。

場面：友達と歩きながら話しています。

【言ってみよう】①

A：Bさん、運動をしたいんですが、どこかいいところを知りませんか。

B：そうですね。運動をするなら市民運動公園がいいですよ。

広くて、いろいろなスポーツができますから。

A：そうですか。ありがとうございます。

自分がしたいことについて、相手からおすすめの情報をもらおうとしています。そのときに、「～んですが、～」を使って聞いています。



「んです」の不適切な多用、誤用をなくすために、色々な場面にわけて学ぶことが大切！

7. 「つながり」重視について、少し説明してほしいのですが・・・。

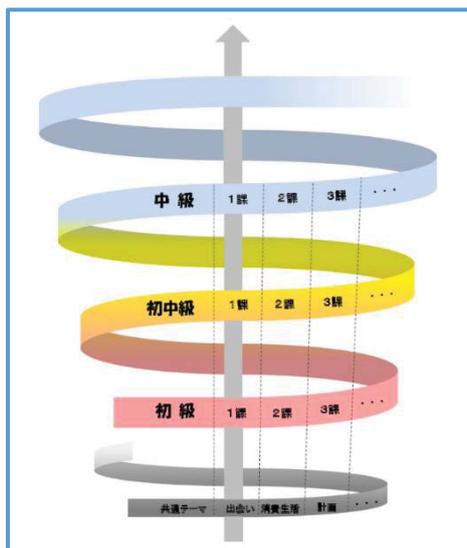
「できる日本語」シリーズは、同じテーマで<初級→初中級→中級>と縦軸でつながっているのが大きな特徴の一つです。全体像と1課「出会い」に関する各レベルの「行動目標」を記しました。これでスパイラル(らせん状)に日本語力があがっていることがお分かりいただけると思います。



『できる日本語』

	共通テーマ	初級	初中級	中級
1	出会い	はじめまして	新しい一歩	新たな出会い
2	消費生活	買い物・食事	楽しいショッピング	楽しい食事・上手な買い物
3	計画	スケジュール	私の目標	時間を生かす
4	私がいるところ	私の国・町	住んでいる町で	地域の暮らし
5	できごと	休みの日	大変な1日	緊急事態
6	外に出る	一緒に!	旅行に行こう	地図を広げる
7	交流	友達の家で	西川さんの家へ	世代を超えて
8	想い	大切な人	ありがとう	気持ちを伝える
9	趣味・余暇	好きなこと	アルバイト先で	言葉を楽しむ
10	旅	バスツアー	旅行に行って	日本を旅する
11	ライフ	私の生活	地域社会の中で	さまざまな考え方
12	健康	病気・けが	私の健康法	心と体の健康
13	影響	私のおすすめ	親の気持ち・子の気持ち	トレンドに乗ってつながる
14	文化	国の習慣	イベント・行事	カルチャーショック
15	メディアと暮らし	テレビ・雑誌から	気になるニュース	情報社会に生きる
16	教育			学校生活
17	仕事			働くということ
18	環境			地球に生きる
19	科学			科学の力
20	豊かさ			豊かさ幸せ

	初級	初中級	中級
1課	簡単に自分のこと(名前・国・趣味など)を話したり相手のことを聞いたりすることができる。	初めて会った人に丁寧に自己紹介したり、印象よく問い合せたりすることができる。	新しい環境に自分から挑戦して、その環境で印象的に自己紹介することができる。



また、同じ1つの教科書の中でもスパイラルに展開しています。ここでは「初中級」について述べることにします。

1課の「行動目標は」は、「初めて会った人に丁寧に自己紹介したり、印象よく問い合せたりすることができる」であり、アルバイトに応募し、面接を受けるという場面・状況になっています。

3課は「自分の目標や計画を話したり進路の参考のために周りの人から話を聞いたりすることができる」を「行動目標」として掲げ、計画について話し合ったり、学校説明会に行く話が出てきます。日本語教育機関などでは、ここで学習者の進路についてしっかり押さえておくことで、早い段階から進学・就職に関する相談も受けることができるようになっていきます。学内でこうした情報をクラス担当者だけでなくシェアするとよりよい指導が可能になります。プライベート・レッスンの場合でも、その学習者のニーズに合わせた授業展開が可能です。

- 4課 日本の生活を楽しむために住んでいる町の情報を教え合って、その情報をもとに行動することができる。
- 7課 日本人の家に行ったとき、場面と関係性を考えながら、その家の人との交流を楽しむことができる。

8課 これまでの経験の中でしてもらってうれしかったことについて感謝の気持ちを表現することができる。

11課 地域の日本人に、自分の最近の生活や今困っていることなどについて話したり、地域の活動に参加したりすることができる。

こうして、15課までさらに行動範囲は広がり、人との関係の構築につながっていきます。参考として、いくつか記しておきましょう。

さて、ここでヨコのつながりの一つとして地域社会とのつながりについて話を進めたいと思います。もうご存知のこととは思いますが、とても大切なポイントですので、再度記しておきます。

「できる日本語」シリーズは、「自分のこと／自分の考えを伝える力」「伝え合う・語り合う日本語力」を身につけることを目的にした教科書です。日本語によるコミュニケーションの中でも「対話力」に重きをおき、人とつながる力を養います。

キーワードは、「対話力」「人とつながる力」ですが、『できる日本語』を使って日本語学習をすることによって、クラスメイト、周りの人達、地域の人達・・・とさまざまな人とつながっていくことができるのです。ここでいくつか【できる!】を見てみたいと思います。【できる!】は課のゴールであり、とても大切な部分です。繰り返しになりますが、【やってみよう】は、スモールトピックのゴールであり、「時間がないからカット」「カットはしないけれど、時間はごく短く……」といったことは避けていただきたいと思います。

8課 日本へ来てからお世話になった人に、感謝の気持ちを伝えましょう。

1. グループになって、お世話になった人に、感謝の気持ちを伝えましょう。
2. その人たちにどうやって感謝の気持ちを伝えるか考えましょう。
3. 電話、手紙、メールなどで、感謝の気持ちを伝えましょう。

11課 自分の住んでいる地域の活動に参加して、交流を深めましょう。

例) 地域のボランティア活動、お祭り、スポーツクラブなどに参加しましょう。

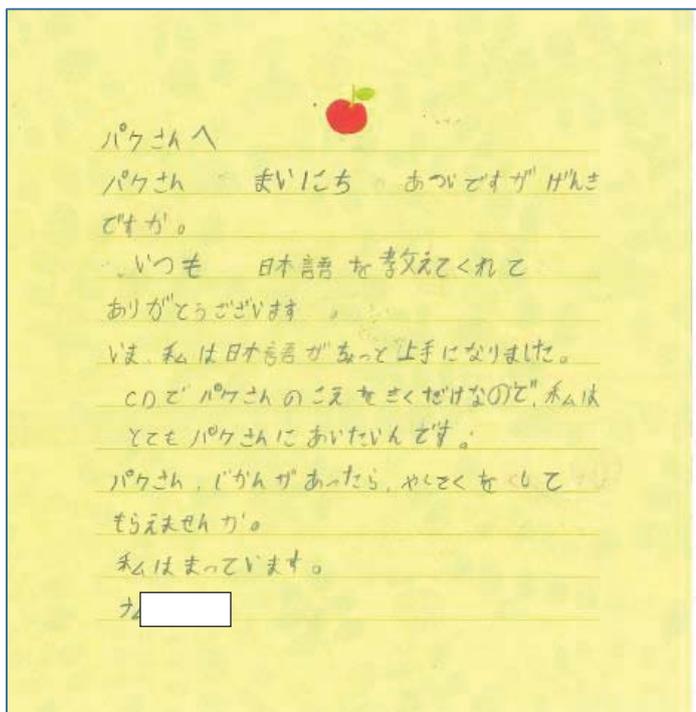
例) 近所の顔見知りの日本人に話しかけておしゃべりしましょう。

地域のどんな活動に参加しましたか。そこでどんな話をしましたか。みんなでお話しましょう。

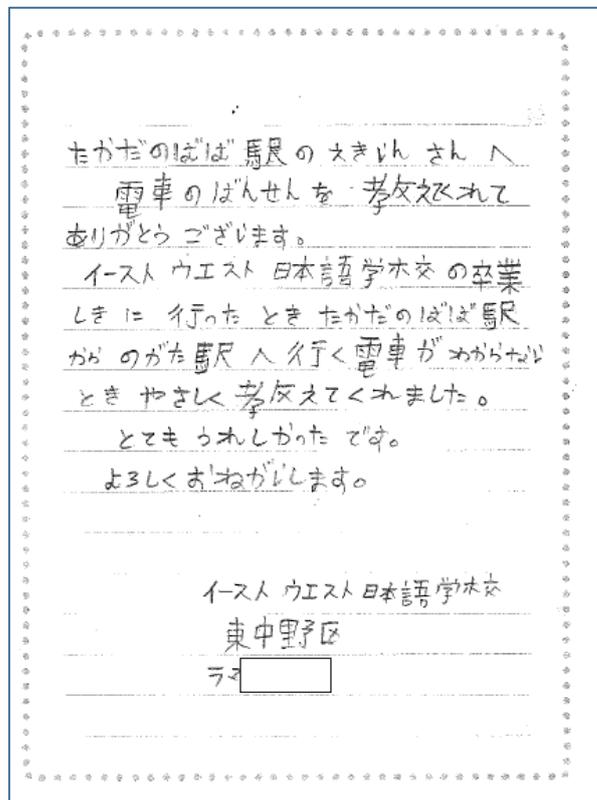
こうした外とのつながりの中での活動はできないという場合には「教室でできる！」も載せてあります。詳しくは教科書をご覧ください。

いつも発想豊かに、自分の思いを伝え合う授業をしていると、初中級8課で以下のような作品が生まれてきます。<A>は、ベトナムの学習者が「教科書の主人公：パクさん」に宛てて書いた手紙です。「こんな気持ちで学習者は教科書に向き合っているのだ」と、ほのぼのとした気持ちになったお手紙でした。は、「お世話になった人に感謝の気持ち」といったときに、Rさんは真っ先に親切にしてくれた高田馬場の駅員さんの顔が浮かんだのだそうです。学習者は、「気持ちを伝えたい」「伝え合いたい」という思いをもって日本語を学び、生活しているのです。

<A>



(ベトナム：女性)



(ネパール：男性)

多様なつながり(人・ことば・
学び...)をめざした日本語
学習は、<わくわく授業>
につながる!!



【参考】

「初中級」には、学習項目として取り上げるほどではありませんが、学習者が初めて目にするときには注意を必要とする項目があります。こうした項目は、授業で簡単な説明を加えてください。

ア

課	ページ		
2課	p33	言ってみよう4,5	「大きいのが」
	p40	話読聞書	「～と聞きました」
	p54	5行目	「～たいと思っています」
3課	p47	言ってみよう聴解部分	「これからのこと」の「こと」
4課	p64	6行目	「～がする」においがする
5課	p74	言ってみよう1	「～への行き方」
6課	p82	言ってみよう3,4	～を歩く
	p83	言ってみよう聴解部分	「安いほうにしませんか」
	別冊p21	2 ⑤	「駅から近いです」
	別冊p22	4 ①	「観光地に近いです」
	別冊p22	1 練習2②	「～のが大変です」
	p87	言ってみよう	「大変」「とても」の意味
	p90	下から2行目	「友達から借りて～」
7課	p94	言ってみよう2	頻度の「よく」の位置
	p97	チャレンジ1	だいたい(「約」の意味は初出)→もう一度で
	p98	言ってみよう1	「このくらいでいいですか」の「で」
	p102	下から4行目	V+まで
8課	p107	言ってみよう2	そんなに～ない
9課	別冊p31	1 ④	～ときは
	別冊p33	1 練習2⑤	～ましたら/～でしたら、～
	別冊p33	1 練習2⑥	～ますので/ですので、～
	別冊p33	1 練習2	おN、ごN
	p121	チャレンジ1	最初に(初出) →もう一度で
	p125	言ってみよう聴解部分	「このお店のこと」の「こと」
10課	別冊p35	1 練習2③,⑨	「頼む」が初出、言ってみよう1-1では「(人)に～と頼む」が出てきているので、別冊で「(人)に(物)を頼む」と「(人)に～と頼む」の両方を出している
	別冊p40	6 練習2	～によって
11課	p154	言ってみよう2	～ですし/ますし、～
12課	p165	チャレンジ5	～てみたらどう? ST2言ってみようにも
	p169	言ってみよう6	～ことが多いです
	p173	言ってみよう5	節約になる
13課	p178	チャレンジ3	それもそうだね
14課	p196	言ってみよう2	「店長に子どもが生まれました」「～に～が生まれる」
	別冊p54	3	助詞の変化
15課	p208	言ってみよう1, 2	～によると

*「文法ノート」、「ことばノート」、「ガイド&イラストデータ」も参考になさってください。

*上にあげたものはすべて同じ濃さでおさえてくださいというものではありません。